

3 / 29 校長室より No.392

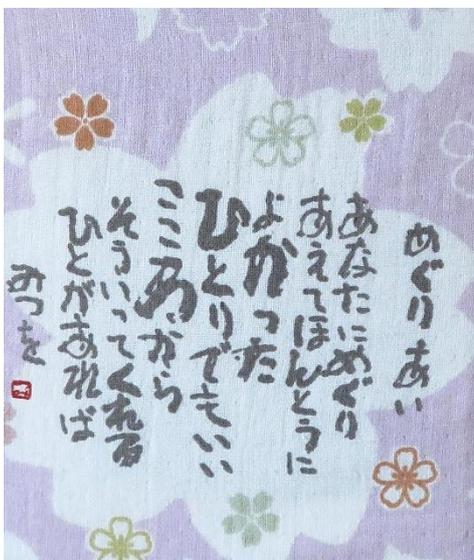
最後の出勤。普段の通勤路も、どこか違って見えました。飯豊中には教頭として2年、校長として2年、計4年間お世話になりました。



校長在任期間には、コロナ対応はもとより、豪雨によるグラウンドへの土砂流入、酷暑による熱中症予防など様々な危機対応が求められました。しかし、教職員の結束と保護者・地域の皆様のご理解・ご協力で何とか乗り切ることができました。本当にありがとうございました。

生徒諸君は、素直で前向きであいさつも良く、私は毎日気持ちよく過ごすことができました。また、行事や諸活動への取り組みも一生懸命で、その度に元気と感動をもらいました。卒業式には卒業生から思いがけないメッセージをもらい、胸が熱くなりました。本当に教師冥利につきます。

そんな生徒諸君に対して、私は何ができたのか。大空に雲の断片で絵を描くようなつかみどころのないことを伝え



てきたのではないか。あるいは過酷なことを言い続けてきたのではないか。一人ひとりの頑張りや集団の成長を見落とすことなく、認めたりほめたりすることができたか…。はなはだ心もとなく、酸っぱい思いも残っています。

しかし、飯豊中教職員の熱意と保護者・地域の方々のご協力・ご支援のおかげで、生徒諸君はたくましく成長し、飯豊中も誇れる学校になっていると手前味噌ながら自負しています。多くの皆様に助けられ、支えられて職務を全うすることができました。飯豊中で最後を迎えられて、本当に嬉しく思います。

感謝の気持ちは語り尽くせませんが、飯豊中生徒諸君の活躍と真っすぐな成長が聞こえてくることを心から願っています。そして飯豊中の発展、さらには保護者・地域の皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。誠にありがとうございました。

